

## 見学会報告

# 環境省生物多様性センターと山梨県環境科学研究所

石川智美



環境省生物多様性センターで  
展示室の説明をしていただく



山梨県環境科学研究所で研究員の  
山本さんに研究棟を案内していただく

11月18日山梨県河口湖の近くにある環境省生物多様性センターと山梨県環境科学研究所の見学会を行いました。

最初に生物多様性センターへ行きました。ここは生物多様性の重要性と保全を目的に設立された環境省自然環境局の機関です。センターは調査・資料収集・情報提供・国際協力などの業務を行っています。センターでは委託を受けているホールアース自然学校の方が展示室を案内してくれました。センターには動植物の標本が約65000点収蔵されていますが、残念ながら収蔵庫は見学できませんでした。標本はすでに標本化したものを収集、交通事故などで死んだ動物を剥製にして種の保全に影響がないようにしているそうです。展示は様々な自然環境のパネルがあり、パネル内の小さな扉を開けると詳しい説明の音声がかかります。動くクマやフクロウの模型など子供が興味を持てるように工夫されていました。触れる標本としてニホンジカの剥製が展示してありましたが実物標本の展示が少ないと感じました。

次に河口湖フィールドセンターへ行きました。溶岩やテンなどの剥製が展示されていて主に自然散策やクラフト体験ができる施設でした。同敷地内にある船津胎内神社は貴重な溶岩樹型洞穴の中を見学ができます。みんなで腰をかがめながら狭い洞穴を一周しました。中は寒

く、外の気温とあまり変わりませんでした。

その後、山梨県環境科学研究所へ向かい昼食をとりました。ここは生態の保全・環境変化などの研究や環境への関心を高める環境学習の支援を目的に設立した県立の施設です。最初に研究棟を見学しました。中央機器室など多くの実験室があり、大気・水・土壌などの分析機器も充実していました。廊下には研究発表のポスターがたくさん置いてありました。年に一度県民に研究内容を発表する機会あり、その時のポスターだそうです。次に本館を見学しました。本館は環境教育事業が行われ、来館者が自由に環境学習できる施設となっています。利用団体は小学校が多く、約半数が山梨県内からで静岡からの団体も多いそうです。草木染めなどのワークショップから自然観察会まで様々な環境教育を行っています。開設して16年、老朽化などで利用できない展示機器は手作りの展示物で補っていました。図書室の中にバードウォッチングできる場所がありました。双眼鏡と野鳥図鑑が置いてあり、ガラスの外側に来たる野鳥の名前をすぐに調べることができます。施設の周りには木製歩道があり、溶岩樹型や植物・野鳥の観察が安全にできるようになっています。

静岡県には自然史系の環境研究施設がありません。自然史博物館も含め、このような施設の必要性を感じます。